

化学人材育成プログラム 化学人材交流フォーラム2025(仮)

主催: 一般社団法人日本化学工業協会 化学人材育成プログラム協議会

【開催日時】

2025年11月17日(月) 13:00 ~ 17:20

【会場】

日化協2階会議室 & オンライン(Zoom)

【開催趣旨】

本フォーラムは、化学人材育成プログラム会員企業と支援専攻の相互理解を促進することを目的としております。専攻からは、奨学生の皆さんに日頃の研究成果や研究以外の活動、今後取り組みたいことなどを発表していただきます。一方、企業からは、キャリア形成支援や産業界で活躍する博士の事例などを紹介し、企業における博士のキャリアイメージを大学に向けて発信していただきます。

【プログラム】(研究発表の順番は、都合により入れ替わる場合があります。)

13:00-13:05 開催挨拶 山口 登造(化学人材育成プログラム協議会会長代行 住友化学株式会社 取締役専務執行役員)

13:05-13:20 企業講演『成長を促進するキャリア形成支援』 船木 節子(三井化学株式会社 人事部)

13:25-14:13 奨学生活動報告 ①~④(発表8分/質疑応答4分) [座長 ○○○○(○○株式会社)]

① アミド系高分子構造異性体の全列挙による温度応答性高分子探索

臼杵 義亨(北海道大学大学院 総合化学院 総合化学専攻)

② 免疫反応の時空間を制御するワクチンDDSの開発と応用

矢澤 佑貴(京都大学大学院 工学研究科 高分子化学専攻)

③ 生分解性ポリマーであるポリトリメチレンカーボネート(PTMC)の高性能化と新機能付与を目指した分子設計

児島 廉(奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域)

④ 熱や光刺激に強い蛍光性メカノフォアの開発と力学応答性高分子への展開

内田 優斗(東京科学大学 物質理工学院 応用化学系)

14:15-14:25 < 休憩 >

14:25-15:25 奨学生活動報告 ⑤~⑨(発表8分/質疑応答4分) [座長 ○○○○(○○株式会社)]

⑤ ロジウム触媒を用いる脱水素カップリングを利用した多環式アザアレーンの合成

林 幹史朗(大阪公立大学大学院 理学研究科 化学専攻)

⑥ 酸化剤を必要としない電気化学的アジピン酸合成に向けた電極触媒の開発

塩入 優(東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻)

⑦ 不均一系触媒を用いる脱水的アミノ化反応

武野 晃太(東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻)

⑧ アルキルラジカル中間体の反応性制御を指向した酸化チタン/コバロキシム二元光触媒系の開発

丸山 詠生(東京大学大学院 工学系研究科 化学生命工学専攻)

⑨ 鉄属元素触媒を用いた室温での水素エネルギー貯蔵システムの開発

高橋 千晶(九州大学大学院 工学府 応用化学専攻)

15:25-15:35 < 休憩 >

15:35-16:35 奨学生活動報告 ⑩~⑭(発表8分/質疑応答4分) [座長 ○○○○(○○大学大学院)]

⑩ ケイ素を活用した炭素=酸素二重結合切断による鉄カルベン錯体合成法

菅 雄翔(東京大学大学院 工学系研究科 応用化学専攻)

⑪ 水素結合部位をもつ鉄(II)スピノクロスオーバー錯体の集積構造制御と物性開拓

鈴木 大成(筑波大学大学院 数理物質科学研究群 化学学位プログラム)

⑫ 多孔質有機塩の構築および空孔修飾における新規アプローチの開拓と展望

成岡 未来(大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻)

⑬ 微生物を用いた芳香族ニトロ化合物生産

森 彩菜(神戸大学大学院 工学研究科 応用化学専攻)

⑭ 進化を辿って明らかにするタンパク質の配列-構造-機能相関

入谷 悠(大阪大学大学院 理学研究科 化学専攻)

16:35-16:45 < 休憩 >

16:45-17:15 博士活躍事例紹介(15分×2件、発表10分/質疑応答5分) [進行:事務局]

● 前田 和輝(旭化成株式会社 マテリアル新事業開発センター/化学・プロセス研究所)

● 天野 由貴(JSR株式会社 JSR・慶應義塾大学 医学化学イノベーションセンター)

17:15-17:20 閉会挨拶 半田 繁(一般社団法人日本化学工業協会 常務理事)

17:20-18:50 懇親会

以上